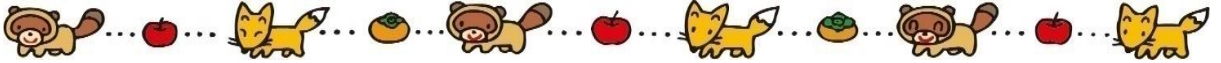


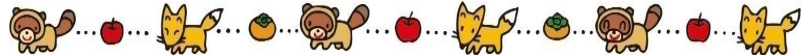
モンテッソーリ Luce だより

2022年10月

モンテッソーリ Luce タイム担当：宮本 正江



9月からは感覚教育の教具を取り入れました。モンテッソーリの感覚教育の教具は、ある1つの概念を感覚的に教える為に出来ています。大きさ、長さ、太さ、色、音など、それぞれ1つの教具につき1つの感覚に対応しています。これから感覚のお仕事も紹介していくので繰り返し教具に触り、子供達の感覚が洗練される様お手伝いします。ところで敏感期という言葉をご存知ですか？敏感期とは子供が成長する過程である一定の時期に持つ特殊な感受性の事です。この敏感期をモンテッソーリ教育では大切にしています。敏感期に子供はある特定の活動に対して意欲的になったり、活動をしたいと強く思います。スポンジ絞りなど活動の中でも繰り返し好んで行う姿が見られていましたね。敏感期の子供はその敏感性と合うお仕事や活動に出会うと大人も驚くような自発的な集中力を見せると言われていますその為モンテッソーリ教育では集団で1つの活動を行うのではなく、個別にその子が選んだお仕事をを行う事で、1人1人の敏感期を大切にしています。敏感期には様々な物が有ります。例えば秩序の敏感期に有る子供は、秩序だった環境を求める為、常に同じ物を同じ場所に置いておかないと気が済まなかったり、物を同じ種類で分ける事を好んだり、活動にも秩序性を好みます。いつもと違う事が有ると泣いて訴えたりする事も有ります。大人から見ると駄々をこねているだけに見えても、いつもと違う事に気付き機嫌が悪いという事も有るのです。生活の中でも食卓でいつも同じ場所に座りたいと言ったり、いつも父が座っている所に母が座ると「そこはお父さんの席だよ。」等と指摘したりする事もあるのではないのでしょうか。子供にとってはいつも同じである事が落ち着くのです。この敏感期は子供が今どんな活動に惹きつけられ繰り返し行っているかを観察する事で知る事ができます。子供にとってそれぞれの敏感期は一過性の物です。今その子がやりたいと強く思う活動を繰り返し十分にやらせてあげる事で、その子の持つ最大限の能力を引き出してあげたいですね。



今月のお仕事紹介

☆秘密袋

対象年齢 3才半～

秘密袋は触覚の立体識別感覚を洗練させるお仕事です。袋の中を見ずに中のものを触って何で有るかを想像し当てていきます。秘密袋には2種類有り2人で行う物、1人で行う物が有ります。2人で行う場合は相手が出した物と同じ物を出していきます。1人で行う物は袋の中に入っている物の名前を言って取り出していきます。

どちらも触覚をたよりに中の物が何かを推測する楽しいお仕事です。お家でも簡単に出来るので是非やって見て下さい。

使われる言葉：袋の中のものの名称

直接目的：立体識別感覚とイメージの視覚化の発達。

語いの拡充。



【活動の様子】



エプロンを付けて、色水注ぎ・スポンジ絞りをしました。楽しいね。



お部屋の中で、色板と同じ色を探しましたね。



シールも上手に貼れましたね。



色水遊び楽しかったね。スポイト上手に使えましたね。



トングでハチさんお部屋に入れましたね。



ボタンが上手にはめられましたね。



ステキなパンロールができましたね。